



中核市サミット

2020 in 倉敷

地域を創り、地域に生きる
～中核市が育む日本の力～



2020 **10.29** [木]

時間 13:30～17:45 (開場12:45)

会場 倉敷アイビースクエア
岡山県倉敷市本町7-2

主催: 中核市市長会・倉敷市

後援: 総務省・岡山県・全国市長会・全国市議会議長会・中核市議会議長会

お問
い合
わせ

中核市市長会倉敷市サミット開催事務局
(倉敷市企画経営室内)

[TEL] 086-426-3055 [FAX] 086-426-5131

[E-mail] plnpol@city.kurashiki.okayama.jp

[Web] <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kikaku/summit2020>

開催スケジュール

13:30～ 14:00	開会式
14:05～ 15:05	基調講演 演題「頻発・激甚化する災害から 「生き抜く」ために」
15:20～ 16:40	パネルディスカッション 第1会場 「災害から「生き抜く」ためのまちづくり」 第2会場 「コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくり」
16:55～ 17:45	全体会議・閉会式

中核市サミット2020in倉敷

地域を創り、地域に生きる ～中核市が育む 日本のか～

中核市は、平成8年に12市が移行して以来、社会情勢に対応しながら、地域の中核都市として地方分権の推進と地域の発展に大きな役割を果たしてきました。制度発足から20年余りを経た現在では60市まで拡大し、全市の人口は約2,233万人となるなど、我が国における存在と責任は高まっています。

本格的な人口減少と高齢化を迎える我が国では、自治体が行政上の諸課題に的確に対応し、住民の暮らしと地域経済を守るための取組を進めていく必要があり、中核市は、各々の地域の中核都市として将来にわたって活力ある社会を維持していく役割が求められています。

一方で、近年、頻発・激甚化する自然災害によって、住民の尊い命や財産を失う等、各地で甚大な被害が生じています。加えて、新型コロナウイルスといった新たな感染症の脅威を受ける中、地方創生の中核となる中核市は、持続可能なまちづくりの基盤となる防災・減災に向けた取組、地域活性化のための力強いまちづくりを早急に進めていかなければなりません。

中核市サミット2020in倉敷では、災害から「生き抜く」ためのまちづくり、そして、コロナに「打ち勝つ」観光文化のまちづくりについて、中核市の市長が一堂に会して議論を深め、その方策を全国に発信し、真の地方創生につなげてまいります。

なお、新型コロナウイルス感染症の影響により、全国各地で様々なコンベンションの中止や延期を余儀なくされるなど、国内外における交流は停滞し、地域経済は大きな打撃を受けています。本サミット開催においては、コロナ禍を「生き抜き、打ち勝つ」一つのモデルケースとして、「新しい生活様式」を踏まえた感染拡大防止と交流促進との両立を図る新たなコンベンションの形を示してまいります。

基調講演

<約60分>



講師

片田 敏孝氏

東京大学大学院情報学環特任教授
日本災害情報学会会長

演題

頻発・激甚化する
災害から「生き抜く」ために



専門は災害情報学・災害社会学。群馬大学名誉教授も務める。災害への危機管理対応、災害情報伝達、防災教育、避難誘導策のあり方等の研究とともに、地域での防災活動を全国各地で展開。2度の内閣総理大臣表彰のほか、内閣府中央防災会議をはじめ、多数の委員会、審議会に携わり、倉敷市災害に強い地域をつくる検討会委員長を務める。

パネルディスカッション <約80分>

第1会場

テーマ 災害から「生き抜く」ための
まちづくり



コーディネーター

三村 聡氏

岡山大学
地域総合研究センター長



コメンテーター

片田 敏孝氏

東京大学大学院情報学環特任教授
日本災害情報学会会長

パネリスト 中核市市長4名程度

近年、全国各地で頻発・激甚化する自然災害により、住民の尊い命や財産を失う等、多くの中核市においても甚大な被害が生じており、被災地では、現在、一日も早い復旧・復興に向けて邁進しているところだ。

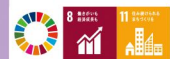
また、今後も地球温暖化による気候変動に伴う台風や集中豪雨の増加、さらには南海トラフ地震や直下型地震などの発生が危惧されているなか、全国各地で、地域の実情に応じて、将来にわたって活力ある社会を維持していく上での基盤となる防災・減災、国土強靱化に向けた取組が進められています。

加えて、新型コロナウイルス感染症の感染防止を踏まえた防災対策など新たな課題への対応についても進めていかなければなりません。

本パネルディスカッションでは、各中核市でのこうした取組を紹介するとともに、災害から「生き抜く」ための方策等について議論します。

第2会場

テーマ コロナに「打ち勝つ」
観光文化のまちづくり



コーディネーター

丁野 朗氏

東洋大学大学院国際観光学部
客員教授



コメンテーター

大原 あかね氏

公益財団法人大原美術館
理事長

パネリスト 中核市市長4名程度

これまで、全国の各地域では、地方創生の実現に向けて、郷土への愛着と誇りの醸成につながる町並み保存、文化財の総合的な活用、地場製品の振興などといった地域資源のブランド化や観光客の拡大につながる様々な取組を進めてきましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、現在、国内外における交流は停滞し、地域経済は大きな打撃を受けています。

本パネルディスカッションでは、各中核市での地域の個性と魅力の創出に向けた取組を紹介するとともに、「新しい生活様式」を踏まえたまちの魅力発信や交流拡大など地域経済の回復につなげるコロナに「打ち勝つ」ための方策等について議論します。

申込締切

10/8

[木曜日]

必着

入場無料

要マスク着用

事前申込必要

聴講をご希望される方はホームページからのお申し込みか、下記の必要事項を記入の上、件名を「中核市サミット申し込み」とし、メール・FAXでお申し込みください。

- ① 郵便番号
- ② 住所
- ③ 氏名(ふりがな)
- ④ 電話番号
- ⑤ 聴講を希望するパネルディスカッションのテーマ
- ⑥ 手話通訳の希望者はその旨を記入してください。◎当日は、質問・意見等の発言はできません。

申込先

中核市市長会倉敷市サミット開催事務局(倉敷市企画経営室内)
[W e b] <https://www.city.kurashiki.okayama.jp/kikaku/summit2020>
[E-mail] plnplol@city.kurashiki.okayama.jp
[F A X] 086-426-5131



ただし、座席に限りがございますので、先着順とさせていただきます。